



新入試第1世代

今年の後期高校入試はカレンダーの関係で3月になってしまいました。ちなみに来年は、うるう年で2月29日実施と決まっていますが、今年の中3はみんな本当によく頑張りました。受験はひとつの壁ではありますが、それを経験することによって集中力・時間管理能力・文章理解力などが身に付きます。なにより「真剣にやれば自分にもできるんだ」という自信がついたのではないのでしょうか。志望校合格を信じています。

さて、2020年は東京オリンピック開催の年ですが、同時に次の春からの大学入試制度が根本的に変わる年でもあります。知識偏重から、論文などを重視する知識活用型に変えるのが目的で、この春から中学に入学するみなさんが大学受験するタイミングでセンター試験が廃止される予定です。英語ではセンター試験に代わるものとして TOEFL（海外留学時の世界共通の英語力判定テスト）や英検などの利用も考えられています。また、高校で学ぶ内容も変わり、科目統合型の授業などが登場してくる可能性があります。ということは、新中1のみなさんが受験する高校入試にしても大きな変化が起こるかもしれません。知識の量そのものを試すのではなく、どう活用するか柔軟性や思考力を見る問題が増えてくるでしょう。以前にも触れた PISA 型の学力を身につける必要があるのです。そのためには、まずいろいろなことに興味をもってください。そしてできそうなことは試してみて、他のものとのつながりを見つけて、少しずつ活用のしかたを覚えていきましょう。本を読むことも自分の体験だけでは足りないことを補えるチャンスとなります。

毎年恒例の“理科・社会のまとめだけに集中する塾生無料の春期講習”もそれに備えるものです。例えば理科の圧力・電流・湿度などの計算や、社会のグラフの読み取りも、それぞれ数学の「比例式」「資料の活用」が問題を解く鍵となります。そしてなによりも重要なのは、何を質問されていてどう答えればよいかという文章読解力です。春休みだけの短期間ですが、しっかり取り組みましょう！